

絆  
前向きに、  
楽しく

# JCLIFE

2021年  
10月号



一般社団法人尾道青年会議所 <http://www.ojc.or.jp/> 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F  
TEL:0848-20-1110 FAX:0848-20-1112 E-mail:ojc@urban.ne.jp Facebook: <http://www.facebook.com/isojcnw>



委員会メンバーで、マイタイムラインを作るうえで、まず、確認しなければならぬ、自分の住んでいる場所をハザードマップで確認できるサイトをご紹介させていただきます、実際に入力し確認していただきました。



マイタイムラインでは、災害が起こる前に準備し計画しておくこと、BCPは災害が発生してしまってからしなければいけないことなど、わかりやすく学ばせていただける内容となりました。

9月16日に9月例会を開催いたしました。私たち社会開発委員会は会員の会社、家族の防災意識向上にお役に立てただけでなく、  
①7月豪雨の惨状、②中小企業BCPの必要性、③マイタイムラインの作成方法について学べる例会とさせていただきます。  
講師として、消防士で防災士また青年会議所OBでもある新宅正章先生に、尾道で起きた惨状から、どう備え、どう行動しなければならぬかを学ばせていただきました。  
また、BCPとマイタイムラインの違いや、マイタイムラインの重要性とBCPの必要性を教わりました。



住所から検索できる、  
重ねてハザードマップのQRとURLを  
添付させていただきます。  
お役立ていただければ幸いです。

重ねるハザードマップ ([gsi.go.jp](http://gsi.go.jp))



私たちが思う、会員、家族、会社、皆様の防災意識を向上させるには、まず、ご自身で住まいをハザードマップで確認することが、防災の第一歩と考えております。  
自分が危険な場所に当てはまっているなら、どのタイミングでどこに避難するか、避難行動計画を立て、当てはまっていないのなら、避難しなくてよいという判断を明確にすることで、今後起こり得る災害から身を守れると思います。ぜひ、ご確認されない方は、こちらのサイトから検索してみてください。

(記事：社会開発委員会委員長 大池慎三)



写真撮影時のみマスクを外しています



オンライン開催ではありましたが、現役メンバーの熱い思いがしっかりと伝わったように思います。仮入会員の真剣な眼差しが画面越しでも伝わってきて、心強さを感じる研修となりました。

(記事：拡大研修委員会幹事 高垣悟)

うに感じます。  
そして、当委員会メンバーの司中昌克君より幹事の役割や重要性をお話し頂き、候補者に幹事について理解して頂くことができました。

9月21日(火)に仮入会員研修を行いました。  
広島県でも緊急事態宣言発令中のため、Zoomでのオンライン開催となりましたが、円滑な本入会に向けて、ルールやマナー、作法を学んで頂きました。  
また、本年度は2020年度の活動をモデルケースとして、加度直前理事長と尾道花火プロジェクト2020を担当した高山淳好副委員長にお話を頂きました。理事長所信からの事業構築、それを受けた委員会運営など尾道青年会議所の活動を具体的に伝えることができたように感じます。

また、本年度は2020年度の活動をモデルケースとして、加度直前理事長と尾道花火プロジェクト2020を担当した高山淳好副委員長にお話を頂きました。理事長所信からの事業構築、それを受けた委員会運営など尾道青年会議所の活動を具体的に伝えることができたように感じます。









# 卒業生スピーチ



大前 隆倫

皆さんこんにちは。早速ですが、入会のきつかけからお話させていたことと思います。僕は8年くらいJICを断ってきたんですけど、

ある時、宮徳の沼田先輩と飲んでた事がありました、「2月例会にちょっと遊びにきてくれないか」ということがありまして、「まあそれくらいだったらいいですよ」と言っていて、それが当時拡大委員長をされてた今岡さんの例会で、蓋を開けてみれば満員御礼で、「これはだまされたな」という感じで終了までいたんですけど、そろそろ帰ろうと思っていて、沼田先輩にそろそろ帰りますと挨拶に行ったら、「ちよと奢るから飲みにいこう」と言われて、行ったのがアフターです。それでお開きになって帰ろうとしたら四つ折りになった白い紙を渡されたんですね。「また今度飲みに誘うから、それまでにこれ書いて持ってきて」と言われて、開けてみたら仮入会申込書なんです。この手口かと。

会社に帰ってこんなもらったって言ったら、うちの社長と沼田先輩が仲良くて、社長が「JCに入るか、会社を辞めるかどっちかにしろ」と。JCでありがちな「はいかYESかよろこんで」とそんな感じを会社でもくらって、そこから巻幡先輩の圧にも押されて入会することになりました。

翌年の2017年地域の希望育成委員会、まずは参加してみようと思っただけなんですけど、その委員会が皆さんい人ばかりで、すごく居心地がよかったですね。常に参加するようになったら、いつの間にかみんなと仲良くなっているような事業をやっていくんですけど、途中から大本君が委員会メンバーでもないんですけど常にいるような状況になったんですね。なので来年大本君の卒業祝いもしようという事になっているのでまた来年卒業祝いしましょう。

2018年事務局でセクレタリーをして、安本先輩と緒にあつちに行つてたんですけど、そ

の時当時、直前理事長をされていた太田先輩を迎えに行つたときがあつて、その時に「セクはどうかい」と言われて「まあよくわかりませんが頑張ります」ということがありまして、セクとはなんぞやという熱いお話を30分くらい聞かせていただいたので、そこからしつかりセクをやろう！という感じになったお話しでした。まあ次年度セクの方、有料にはなるんですけどお話しが聞きたかったら僕のとこまで来てください。そこからこの年は平尾容疑者とか西日本豪雨で通常の事務局としての業務以外のことも結構大変だったんですけど、頭を使う系だったりパソコンを使う系だったりするのは全部（小林 暢玄さんと加藤（雄大）ちゃんに全振りしました。まあその分体を使うからということ。その節は大変お世話になりました。で、事務局メンバーで飲むことが時々あつて、政成さんのマシオンがあるんですけど、904号室、俗にいう苦しんで死ぬ部屋です。そこで飲むことが何回かあつて、安本理事長はエアコンとかテレビをつけっぱなしにして、ご丁寧に電池とか全部外してあちこちにばら撒いて帰るんですね。川崎耕平はベットの布団の中に升瓶とか部屋の到るものをぶち込んで帰ったり、（島田）げんちゃんはあちこち物色して回つたりとか、そんな飲み会でした。また政成さん呼んでください。また、この年、サマコンとか西日本豪雨で中止になったり、全国大会が台風で中止になったりとか、いろいろホテルとか新幹線とか手配してたんですけど、全部キャンセルになってその都度旅行会社に頭を下げに行つてたんですね。キャンセルしすぎてちよと申し訳ないなつていうことで安本理事長の卒業旅行で京都に行こうということになりました、そのちよと前に安本理事長が行けなくなつたと、そしたら川崎耕平も行けなくなつたと、（島田）げんちゃんも行けなくなつたと、もうこれ以上キャンセルできねえなという事になって、もうセク3人でガチの京都旅行をやつて帰りました。この年も楽しい一年でした。

僕初めてその日につぶれてました。当時幹事だった大池さんにホテルまで連れて帰ってもらったんですけど、夜中に目が覚めて大池さんいないんですね。枕元に水とウコンが置いてあつて、それを頂いて寝たんですけど、朝になって大池さん帰つてらっしゃって、「どこに行つたの？」つて聞いたら、笑顔で「人で遊びに行つてました！」つて。こいつ大物になるなつて思つて京都から帰つたつて感じですね。あとみなと祭りで動物園とかVR体験とかやらしてもらつたんですけど、みなと祭りの前日に正副理事長会議で僕が上程してた9月例会が全やり替え食らいまして、みなと祭りの前日の夜に徹夜で上程書を直すつていう作業が始まりました、そこからその流れで徹夜のまま2日間みなと祭りをやるつていう地獄が待つてました。結果、動物の力は偉大で、大成功に終わつたんですけど、今思えばそこからコロナでみなと祭りをやつた最後の委員長は僕なんです、またこれも有料にはなるんですけど次年度の委員長の方はわかenいことがあれば僕の方に聞きに来てもらえたらと思います。あとは例会とか本事業の「DADA DADA 大脱出」というのをやらせてもらつたんですけど、この委員会のメンバーがすごく、率先して動いてくれるんですね。みんな。お願いしたらプラスアルファまで作つてくれて、当日僕はもうただ腕組んで見てればいよつていう状況を毎回作つてくれるようなそんな委員会メンバーでした。本最高委員会メンバーです。ありがとございませう。まあそれもひとえに僕の人望です。またこの年、人生で生まれて初めて骨折つて、いづのをやらかしまして、その時も当時間期委員長だった皆様が率先して「その足じゃ出れないから僕が代わりに出るよ」とつていうことを（池田）知和君とか大本君とか（小林）暢玄さんとか言ってくれたんですけど、加藤（雄大）君だけが来てくれなかったのは今でも覚えてます。本当にその当時の委員長の皆様お世話になりました。ありがとございませう。

2020年拡大研修委員会の副委員長。この年、また京都会議なんですけど安本先輩が京都に行きたいということで、僕ら前泊で（島田）げんちゃんと3人で京都に行つたんですけど、それで豪遊させてもらつて、次の日委員会メンバーと合流したんですけど、京都会議はなにもなく終わつたんですけど、帰りの新幹線で重大な事に気が付くんです。京都会議の前泊の前日に理事会で家を空けていたんですけど、よくよく考えたら家族に京都会議に行くつて伝えてなかつたんですね。言つたつもりで。家に帰つたら地獄が待つてまして、1ヶ月ちよとくらい嫁も子どもも口を利いてくれない、同じ家にも空気も扱い、ご飯も4人家族なのに3人分しかないつていうそんな地獄を見させてもらつたんですけど、それを見かねた巻幡先輩夫婦が離婚の危機を救つてくれて、なんとか今に至るつていう感じだったんですね。皆さんも報連相だけはしっかりとするようにしてもらえたらと思います。あとはコロナが始まったのでこの委員会のメンバー、安楽城理事長だったり、（岡本）正也さんだったり（島田）げんちゃんだったり、（川口）はる君だったり、勢いはほんとすごくて、酒の匂いじゃないようなそんなメンバーでした。ほんとお世話になりました。ありがとございませう。

今年、2021年大池委員会、この歴を見てもらつたらわかるように最終年で初めて委員という名鑑をもらつたんですね。大池委員長も僕や、（池田）知和君や（岡田）貴臣さんや（山本）圭ちゃんつていう理事明けが多いメンバーではあるんですけど、あと少し頑張りませう。

最後に、伝えたいことつていうのは僕はないんですけど、多くの先輩方や多くのメンバーに可愛がつてもらつたおかげで今の僕があると思つてます。なので近年入会者の皆様も可愛がつてもらつたも勝ちかなんて、どんどん寄り添つて行つて可愛がつてもらえるようにしたら楽しいJCライフが送れるんじゃないかと思つてます。

最後に入会以来6年程、例会や合同委員会に対してすべて100%出席の偉業を果たしました。尾道青年会議所の歴史の中でも僕だけじゃないかと自負しておりますので、次年度今岡理事長が1月例会でなんらかの表彰をしてくれると信じておりますので、宜しくお祈りします。残りあと数ヶ月となりましたが今後ともよろしくお祈りします。

以上で卒業生スピーチに代えさせていただきます。ありがとございませう。



小川 直紀

こんにちは小川です。今日はコロナ禍にもかかわらず、安楽城理事長をはじめとします事務局の皆様、このような時間を作って頂き誠にありがとうございます。

また、メンバーの皆様にもお忙し中多くの方に集まって頂き誠にありがとうございます。私は知和君、大前ちゃんと同じ入会年でちょうど6年が経つここに登壇させてもらっております。毎年楽しいメンバーの委員会に配属して頂いたなという印象もあるんですけど、実は今日ここに来るときに家の前に白いレクサスがピシヤット止まって、タバコを吸いながらこちらを見ている女性がいました。誰かなー、絶対知り合いじゃないなーと思いつつ近づくと思ったら馬原さんだったんですけど、「迎えに来たよー」ということでここまで連れて来て頂きました。

馬原さんが最初入会されたのは随分前で二度退会されて、今年から再入会されておりました。私も今年初めてお会いしましたが、本当に気遣いも出来る方で、普段はコミュニケーションをとるのが上手ではありませんが、お酒が少しでも入ると行き過ぎるところもありますので、次年度二緒の方はそこだけは重々気を付けて、取り扱いは平岡さんに聞いていただき、取り扱ひ説明書をしっかりと読んで二緒に飲んでもらえば事故はないかなと思います。

私が入会したきっかけは、美ノ上さんに誘っていただき入会しました。お誘いがなければ私に立っていることもないですし、色んな人に出会えることもなかったんです。美ノ上さんとも縁があったり知り合ったんですけど、縁があつてこそだなと、あらためて実感いたしました。本当に美ノ上さんありがとうございます。

入会いたしました。幹事として配属された委員会が60周年実行特別委員会、加度実行委員長をはじめ、高橋健太副実行委員長、美ノ上副実行委員長とメンバーも4番バッターばかりの方々で、右も左も分からない中、委員会等緊張感ある中参加していたのを思い出しました。その中でも印象に残っていることは、委員会話を聞いても何も分からないので頷くしかできませんでしたが、二回目ぐらいの委員会、新宅先輩から「小

川君座つとくだけじゃ来た意味ないで」と言われて、ドキッとした記憶があります。おっしゃられた通り、私たちは家族や会社の時間を使つてこういう活動をしているわけで、先ほど高山君も言われましたけど、有意義な時間にしていくには発言していかないとけないと思つていました。

とにかく忙しい委員会でしたが、J.C二年目は今まで経験したことのない事ばかりで、それが楽しくて俗に言う「はまらた」という感じでした。出席する度に様々な刺激があり、経験したことのない活動に魅力を感じていきました。ただ、つしくじったのが器用な方ではないので、2つ3つと同時にできない人間で、J.Cにはまらつてしまったこととで、家庭サービスがかなり疎かになりました。私は少し古い所があり、男はだまつて外で働いてくるといふ考えで、家族にもそういう振る舞いをしてきたところ、1回目の離婚届けが出てきました。

どう考えても私が悪いので、謝罪をし、なんとかとどまつていただき、J.C二年目を迎えました。河原研介先輩率いる2年目もとても楽しい委員会、1年目とは違った面白さがあり、またそこでJ.Cにはまりました。そして再び家庭が疎かになり2回目の離婚届けが出てきました。これからは2回三行半を突き付けられた状況で、これは本当にまずいということ、妻ともしっかりと話をし、ラストチャンスをとって3年目に突入しました。3年目でセクレタリーをさせてもらいました。今までの学びから妻にこういう仕事のお誘いをされたら受けたいというふうかとお伺いしたところ、「やりたいんならやれば」と言われて少し意外だったんですが、セクレタリーを受けることになりました。38歳でセクレタリーをする方もそうそういないと思いますが、本当にJCのことを色々勉強できるポジションですので、若い方は積極的に受けてもらいたいです。安保大輔君も来年されるということなので頑張つて下さい。

この年も大失敗をいくつかしております。事務局長が大西さんで、私と岡本大ちゃん、三浦ちゃんと3人セクレタリーがいましたが、初めから大変な迷惑ばかりかけておりました。毎年J.CとはスポンサーJ.Cなので事務局は顔合わせがありますが、その時にこの白い尾道の旗を持って

行きます。そこでこの旗を掲げて食事等をするのですが、間違えて葬式の時に使う紫の旗を持って行くという醜態をさらしてしまいました。絶対に中身を確認して持つて行って下さい。

山北理事長に恥をかかせる事になってしまい、大西さんに謝つていただき、僕は陰ですいませんと言つていただけでしたが、本当に迷惑をおかけしたと思つております。国旗は皆さんから見て左です。

私は間違えて国旗を右に付けてしまいました。セクレタリーになったばかりで間違えるならまだしも、少し時間がたつてからなので、なんでそうなつたのか記憶にございませんが、気が抜けていたのかなと思います。その時叱責を受けまして、「これ誰がやったん」という話になり、「すいません、私が」と言おうとした時に、大西さんが「すいません、私の責任です。」と盾になつていただきました。

この場をお借りして大西さんに再度謝罪をさせて頂きたいと思つています。大変な迷惑をお掛けいたしました。申し訳ございませんでした。

結局自分の気の緩みで多くの方へ迷惑をかける事となりました。冒頭で高副理事長もおっしゃられたように、スイッチを入れないといけない時がこの先多々ありますので、やる時はやると思つていただけたらと思つています。

この年も家庭ではボタンの掛け違いにより離婚届けを見ました。3回目ですが、これは誤解によるものでしたので、短期間で修羅場が終息いたしました。

4年目委員長させていただいた時ぐらゐから家庭に変化がありました。今まではJ.Cと聞いてだけで機嫌が悪くなるような家族が、応援してくれるようになりました。何でもかと思つておりましたが、事業の企画などを家族にも相談したりし、私がやっていることを家族で共有する事ができて、J.C活動の中身が見えたという事がうまいくつた要因だったのかなと思つています。それを最初からやつとけばよかつたなと今更思いますが、それも修羅場を潜つて分かつたことなので、これから入会される仮入会員の皆さんも、家庭があり、会社があり、J.Cがあり、いろいろの優先順位

があると思つていますが、家庭は活動の原動力となりますのでバランスを取りながら活動していただけたらと思つています。

委員長時代はしんどいことも沢山あり、大本副委員長、政成副理事長には本当にギリギリまでやらない自分のせいでイライラされたと思つています。大変なお世話になりました。

そして、当時の委員会メンバーというのが最高のメンバーが集まりまして、本当に助けていただき、しんどい時期もありましたが、記憶があまりございません。楽しい思い出や、良い思い出の方が勝つており本当に良い経験でした。その時のメンバーが今、理事として頑張っている姿が非常に嬉しいです。幹事の半田祐喜君は「僕1年契約だから、小川さん1年でやめます。」と1年終わる頃に言われて、「おいおいちよつと待てよ」ということで大関に行つて、食べ終わる頃には「2年契約します」と言ってもらえた事もとても嬉しかったです。

そんな半田祐喜君が次年度は委員長をされるので、OBとして全力で応援させていただきます。ともに、活躍を大いに期待しております。頑張つて下さい。

今年の委員会メンバーにはまた改めてお礼を言わせて頂きたいと思つていますのでこの辺にしておきます。

最後に、これから入会される仮入会員の皆さんにお伝えしたいのは、色々不安もあるかと思つていますが、私はJ.Cに入会して人生が少し変わったような気がします。

それは誰かのために何かをしてあげたいという思いだったり、逆に誰かが自分を助けてくれたりだとか、そういう経験をする事でメンバーと関係性を作ることができました。また、何かに挑戦する事は勇気がいられますけど、強制的にでも挑戦する事で考えが変わつていき、習慣も少し変わったと思つています。基本的には参加しないとチャンスは掴むきっかけは作れないので、許される限り参加して頂き、積極的に活動する事で、気が付けば人間関係も出来ていると思つています。楽しい生活を送れると思つていますので頑張つて下さい。皆さんの活躍を期待しております。

6年間どうもありがとうございました。